

## 熊本復旧PTを通じた道路橋の復旧に向けた技術支援

### ○技術支援

- ・熊本復興事業において国総研と共に補修・補強方法およびモニタリングに関して技術支援
- ・熊本市と南阿蘇村を結ぶ主要ルート(阿蘇長陽大橋を含む)の早期供用再開など、復旧に貢献
  - 阿蘇長陽大橋は1年4カ月で開通, 桑鶴大橋は平成30年7月20日に補修工事完了

### ○復旧に反映された技術的工夫

(阿蘇長陽大橋)

- ・将来風化する可能性がある地盤であることを踏まえ、多少の地盤沈下にも致命的な損傷が生じにくい構造形式を採用
- ・斜面崩落の影響を受けにくくなるような道路線形を採用

(桑鶴大橋)

- ・上向き方向および水平方向の力に抵抗する部材はそれぞれ分離した支承構造を採用
- ・桁端の浮上がりにより長期通行止めとなったことを踏まえ、浮上がり防止用のフェールセーフ機能を設置

### 阿蘇長陽大橋の復旧

被災直後の状況



復旧の状況



### 桑鶴大橋の復旧

被災直後の状況



上向き方向、水平方向の抵抗に対して分離した部材  
浮上がり防止する装置  
(フェールセーフ機能)

出典: 国土交通省九州地方整備局  
熊本河川事務所

[http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/sit\\_e\\_files/file/temporary/180720\\_tawara.pdf](http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/sit_e_files/file/temporary/180720_tawara.pdf)

